

「酒類小売業者の概況」の概要

1. 小売業者の販売状況

○ 事業者数、販売場数及び小売数量

業態別の事業者数構成比では、一般酒販店が最も多く、全体の41.5%(34,090者)を占めている。業態別の販売場数構成比では、コンビニエンスストアが最も多く、全体の35.4%(54,215場)を占めている。

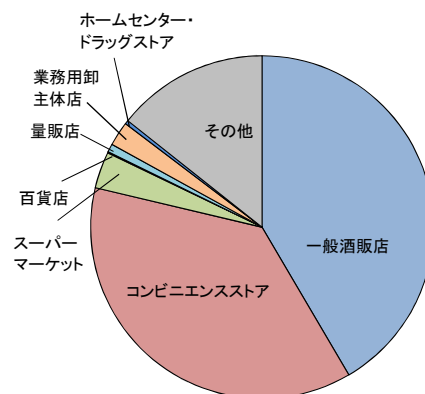
業態別の小売数量構成比では、スーパーマーケットが最も酒類を多く販売している(37.2%、2,975,652kl)。

○ 業態別事業者数

(小売業者の販売状況 (1)事業者数 1-1-1業態別事業者数)

業態	区分	事業者数	構成比
		者	%
①一般酒販店		34,090	41.5
②コンビニエンスストア		30,488	37.2
③スーパーマーケット		2,824	3.4
④百貨店		97	0.1
⑤量販店(ディスカウントストア等)		624	0.8
⑥業務用卸主体店		1,898	2.3
⑦ホームセンター・ドラッグストア		286	0.3
⑧その他(農協、生協など)		11,749	14.3
合計		82,056	100.0

※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

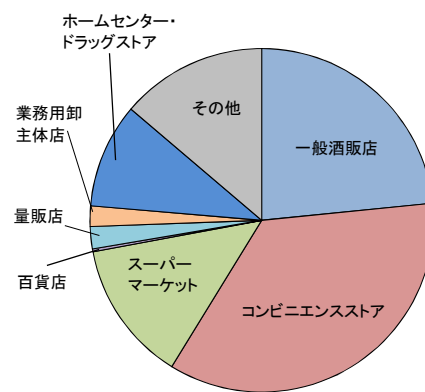


○ 業態別販売場数

(小売業者の販売状況 (2)販売場数 1-2-1業態別販売場数)

業態	区分	販売場数	構成比
		場	%
①一般酒販店		35,906	23.4
②コンビニエンスストア		54,215	35.4
③スーパーマーケット		20,398	13.3
④百貨店		406	0.3
⑤量販店(ディスカウントストア等)		3,195	2.1
⑥業務用卸主体店		2,962	1.9
⑦ホームセンター・ドラッグストア		15,143	9.9
⑧その他(農協、生協など)		21,137	13.8
合計		153,362	100.0

※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

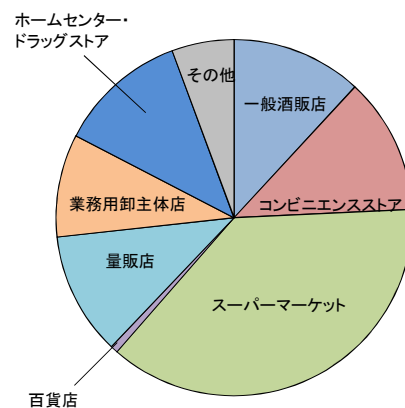


○ 業態別小売数量

(小売業者の販売状況 (3)小売数量 1-3-1業態別小売数量)

業態	区分	小売数量	構成比
		kl	%
①一般酒販店		950,247	11.9
②コンビニエンスストア		990,607	12.4
③スーパーマーケット		2,975,652	37.2
④百貨店		54,223	0.7
⑤量販店(ディスカウントストア等)		893,225	11.2
⑥業務用卸主体店		747,310	9.3
⑦ホームセンター・ドラッグストア		939,650	11.7
⑧その他(農協、生協など)		452,162	5.6
合計		8,003,076	100.0

※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。



- 営業時間、リターナブルびん回収割合、酒類自動販売機の設置状況
営業時間の平均は、コンビニエンスストア(22.9時間)に次いでスーパーマーケットが長い(13.2時間)。リターナブルびんを販売している販売場の90.2%が回収を行っており、中でも一般酒販店の回収割合が最も高い(97.4%)。酒類自動販売機の設置台数は一般酒販店が最も多い(11,968台)。

- 営業時間
(小売業者の販売状況 (4)その他 1-4-1営業時間)

区分	全国合計		
	販売場数	営業時間計	平均営業時間
	場	時間	時間
①一般酒販店	32,032	330,932	10.3
②コンビニエンスストア	49,952	1,145,160	22.9
③スーパーマーケット	19,375	255,022	13.2
④百貨店	382	3,654	9.6
⑤量販店(ディスカウントストア等)	3,079	38,729	12.6
⑥業務用卸主体店	2,462	23,114	9.4
⑦ホームセンター・ドラッグストア	14,540	184,679	12.7
⑧その他(農協、生協など)	19,189	197,523	10.3
合計	141,011	2,178,814	15.5

「二十歳未満の者の飲酒防止に関する表示基準」の実施状況等報告書の「営業時間」の項目に記載のある販売場を対象とし、販売場数及び記載された営業時間を集計したものの。

- リターナブルびん回収割合
(小売業者の販売状況 (4)その他 1-4-2リターナブルびん回収割合)

区分	全国合計			
	販売場数	内リターナブルびん販売有	内回収有	回収割合
	場	場	場	%
①一般酒販店	31,833	26,821	26,135	97.4
②コンビニエンスストア	49,358	9,225	7,127	77.3
③スーパーマーケット	19,424	14,139	13,222	93.5
④百貨店	364	126	46	36.5
⑤量販店(ディスカウントストア等)	2,747	2,130	2,061	96.8
⑥業務用卸主体店	2,208	1,346	1,290	95.8
⑦ホームセンター・ドラッグストア	13,260	5,727	4,810	84.0
⑧その他(農協、生協など)	18,308	5,407	3,846	71.1
合計	137,502	64,921	58,537	90.2

「二十歳未満の者の飲酒防止に関する表示基準」の実施状況等報告書のリターナブルびん関係の項目に記載がある販売場を対象とし、「リターナブルびんを使った酒類を販売している」を「はい」とした販売場に対する「リターナブルびんの回収を行っている」を「はい」とした販売場の割合を算出したものの。

- 酒類自動販売機の設置状況
(小売業者の販売状況 (4)その他 1-4-3酒類自動販売機の設置状況)

区分	全国合計		
	自動販売機設置場数	総設置台数	1場当たり設置台数
	場	台	台
①一般酒販店	10,193	11,968	1.17
②コンビニエンスストア	265	309	1.17
③スーパーマーケット	182	203	1.12
④百貨店	0	0	-
⑤量販店(ディスカウントストア等)	59	70	1.19
⑥業務用卸主体店	102	115	1.13
⑦ホームセンター・ドラッグストア	5	6	1.20
⑧その他(農協、生協など)	261	305	1.17
合計	11,067	12,976	1.17

「二十歳未満の者の飲酒防止に関する表示基準」の実施状況等報告書において酒類の自動販売機を設置している旨報告した販売場を対象とし、設置販売場数と設置台数を集計したものの。
なお、自動販売機の種類(改良型又は改良型以外)及び自動販売機の設置位置(店内又は店外)は問わない。

○ 中小企業割合

酒類小売業者の約8割を占める一般酒販店及びコンビニエンスストアのほとんどが中小企業であるため、全体の中小企業割合は93.5%となっている。

(小売業者の販売状況 (4)その他 1-4-4中小企業割合)

区分	全国合計		
	事業者数	内 中小企業	中小企業割合
	者	者	%
①一般酒販店	17,723	17,560	99.1
②コンビニエンスストア	16,070	15,831	98.5
③スーパーマーケット	1,632	1,319	80.8
④百貨店	55	18	32.7
⑤量販店(ディスカウントストア等)	391	359	91.8
⑥業務用卸主体店	1,102	1,043	94.6
⑦ホームセンター・ドラッグストア	187	118	63.1
⑧その他(農協、生協など)	7,240	5,282	73.0
合計	44,400	41,530	93.5

「二十歳未満の者の飲酒防止に関する表示基準」の実施状況等報告書を提出した事業者のうち、中小企業基本法で定める小売業区分により中小企業者に該当する次の事業者を集計したもの。

会社	資本金の額又は出資の総額が五千万円以下、又は常時使用する従業員の数が50人以下の会社
個人	常時使用する従業員の数が50人以下の個人

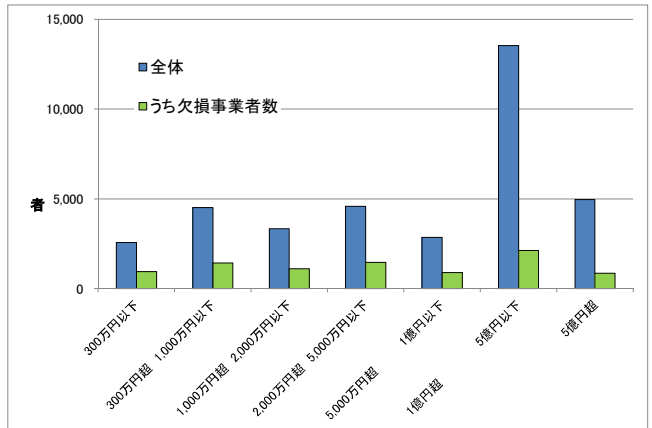
2. 小売業者の経営状況

○ 総売上高規模別事業者数

総売上高1億円超5億円以下の事業者が最も多く(37.2%)、欠損割合は最も低い(15.7%)。総売上高300万円以下の事業者の欠損割合が最も高い(37.2%)。

(小売業者の経営状況 (1) 経営状況 2-1-4総売上高規模別事業者数、2-1-5同欠損事業者数)

区分	全体		うち欠損事業者数		
	事業者数	構成比	事業者数	構成比	全体に占める割合
	者	%	者	%	%
300万円以下	2,559	7.0	953	10.8	37.2
300万円超 1,000万円以下	4,516	12.4	1,427	16.1	31.6
1,000万円超 2,000万円以下	3,329	9.2	1,111	12.6	33.4
2,000万円超 5,000万円以下	4,582	12.6	1,458	16.5	31.8
5,000万円超 1億円以下	2,851	7.9	899	10.2	31.5
1億円超 5億円以下	13,527	37.2	2,127	24.1	15.7
5億円超	4,951	13.6	864	9.8	17.5
合計	36,315	100.0	8,839	100.0	24.3



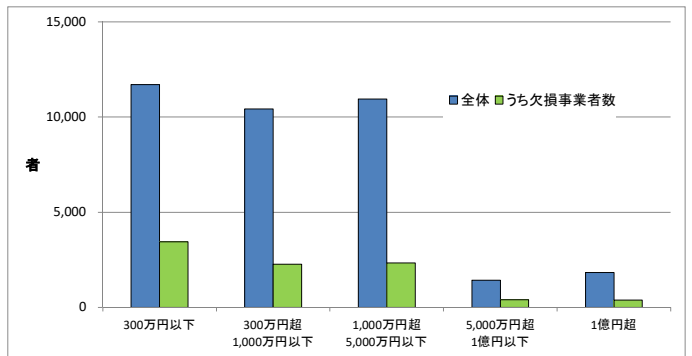
※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

○ 酒類売上高規模別事業者数

酒類売上高300万円以下の事業者が最も多く(32.2%)、欠損割合も最も高い(29.4%)。

(小売業者の経営状況 (2) 酒類に関する経営状況 2-2-1 専業割合別事業者数、2-2-2 同欠損事業者数)

区分	全体		うち欠損事業者数		
	事業者数	構成比	事業者数	構成比	全体に占める割合
	者	%	者	%	%
300万円以下	11,699	32.2	3,439	38.9	29.4
300万円超 1,000万円以下	10,419	28.7	2,267	25.6	21.8
1,000万円超 5,000万円以下	10,945	30.1	2,343	26.5	21.4
5,000万円超 1億円以下	1,422	3.9	411	4.6	28.9
1億円超	1,830	5.0	379	4.3	20.7
合計	36,315	100.0	8,839	100.0	24.3



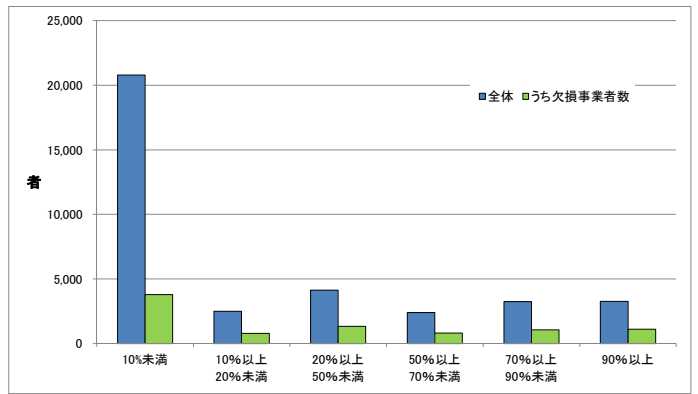
※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

○ 専業割合別事業者数

専業割合が10%未満の事業者が最も多く(57.3%)、専業割合が低い事業者ほど欠損割合が低い傾向にある。

(小売業者の経営状況 (2) 酒類に関する経営状況 2-2-3 専業割合別事業者数、2-2-4 同欠損事業者数)

区分	全体		うち欠損事業者数		
	事業者数	構成比	事業者数	構成比	全体に占める割合
	者	%	者	%	%
10%未満	20,799	57.3	3,780	42.8	18.2
10%以上 20%未満	2,505	6.9	793	9.0	31.7
20%以上 50%未満	4,123	11.4	1,317	14.9	31.9
50%以上 70%未満	2,406	6.6	805	9.1	33.5
70%以上 90%未満	3,230	8.9	1,045	11.8	32.4
90%以上	3,252	9.0	1,099	12.4	33.8
合計	36,315	100.0	8,839	100.0	24.3



※ 「二十歳未満の者の飲酒防止に関する表示基準」の実施状況等報告書に記載された「総売上高」に占める「内酒類小売による売上高」の割合を「専業割合」として算出している。
 ※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

○ 1者当たりの業態別損益等

1者当たりの酒類小売による売上高はホームセンター・ドラッグストアが多い。

(小売業者の経営状況 (2)酒類に関する経営状況 2-2-5業態別損益)

業態	提出 事業者数	総売上高		売上総利益		営業利益	税引前 純利益	酒類に係る 受取りペー
		千円	内 酒類小売に よる売上高	千円	内 酒類小売に よる売上総利益			
①一般酒販店	15,401	106,047	30,915	22,845	5,925	2,031	3,157	204
②コンビニエンスストア	12,705	586,208	17,015	218,221	4,631	50,739	38,393	130
③スーパーマーケット	1,364	15,458,560	735,143	5,389,586	115,425	302,671	258,108	12,323
④百貨店	51	63,544,943	786,865	15,558,548	194,321	1,395,133	1,213,118	16,719
⑤量販店(ディスカウントストア等)	333	6,908,629	930,052	1,503,289	124,633	148,578	122,220	13,924
⑥業務用卸主体店	976	2,923,344	363,970	583,221	56,992	35,537	31,049	6,533
⑦ホームセンター・ドラッグストア	158	48,548,918	1,979,916	13,760,577	232,830	1,799,916	1,706,185	20,763
⑧その他(農協、生協など)	5,327	4,519,556	37,447	983,311	100	124,960	112,566	596
全体	36,315	1,936,044	80,199	543,888	13,638	60,419	52,060	1,100